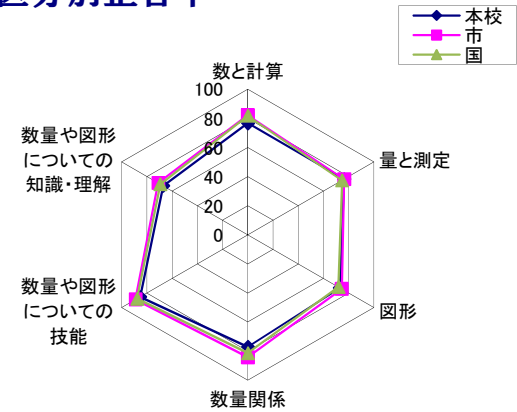


宇都宮市立清原東小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

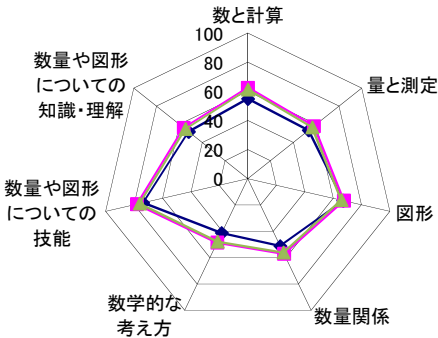
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	76.6	82.2	81.8
	量と測定	76.5	76.4	74.8
	図形	73.0	74.5	71.8
	数量関係	77.0	84.2	81.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	85.5	89.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	67.2	71.1	69.5



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	54.9	62.6	61.3
	量と測定	53.4	58.0	56.5
	図形	67.2	67.5	65.7
	数量関係	51.1	57.1	56.2
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	41.3	48.6	47.8
	数量や図形についての技能	73.8	78.1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	51.9	56.3	54.8



★算数に関する質問紙調査の状況

○「算数の授業の内容はよく分かりますか」との設問では、82%の児童が回答し、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」との設問では、91.8%の児童が肯定的な回答をしており、全国平均を上回っている。
●「調査問題の解答時間は十分でしたか」の設問では、時間が足りなかったと答えている児童が(算数A)で19%、(算数B)で41%おり、全国平均を上回っている。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く設問では、全国平均を1.4ポイント上回っている。 ●示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ設問では、21.3ポイント下回っており、正答率が32.8%だった。	・割合の比較量の求め方が定着していないので、朝の学習等での繰り返し学習により、繰り返し問題に取り組み、計算の仕方を身に付けさせる。
量と測定	○1m ³ の立方体を基に、示された直方体の体積を求める設問では、全国平均を10.7ポイント上回っている。 ●昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く設問では、全国平均を5.8ポイント下回っており、正答率が32.8%だった。	・示された情報を基に考える学習では、答えを出しても、それを分かりやすく説明する力が十分に身に付いていない児童が多いので、基本を十分に定着させ、説明する機会を増やし、習熟させ、表現力を高めたい。
図形	○直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く設問では全国平均を1.3ポイント上回っている。 ●コンパスを使った平行四辺形の書き方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ設問では、全国平均を2.1ポイント上回っているものの、正答率が54.1%だった。	・図形に関する問題は全国平均を上回っている問題が多いが、作図に関しては苦手としている児童が多いので、コンパスや分度器などで作図する作業に取り組ませる。
数量関係	○答えが100-20×4の式で求められる問題を選ぶ設問では、全国平均を1ポイント上回っている。 ●二人の説明を基に、37×24の積が888になることを書く設問では、全国平均を15.9%下回っており、正答率が39.3%だった。	・示された計算のきまりを基に考える学習では、授業において正しく計算できる力を身に付けさせるとともに、なぜそうなるのか理由を説明することに繰り返し取り組ませる。